

## 表2

# 膠原病患者における免疫修飾薬とCOVID-19ワクチン接種の時期に関するガイダンス

薬剤	免疫修飾薬とワクチン接種のタイミング	タスクフォースの同意度
プラケニル、ガンマグロブリン大量療法、ステロイド（プレドニゾロン換算20mg/日未満）	免疫修飾薬、ワクチン接種のタイミングに変更の必要なし	強～中
アザルフィジン、アラバ、セルセプト、アザニン・イムラン、エンドキサン（経口）、TNF・IL-6受容体・IL-1・IL-17・IIL12/23・IL23の各阻害剤、ベンリスタ、ネオオーラル・プログラフ・タクロリムス、ステロイド（プレドニゾロン換算20mg/日以上）	免疫修飾薬、ワクチン接種のタイミングに変更の必要なし	中
MTX（メトトレキセート・リウマトレックス・メトレート）	疾患活動性が制御されている患者ではワクチン接種後1週間はMTXを休薬 ワクチン接種のタイミングは変更なし	中
JAK阻害剤	ワクチン接種後1週間はJAK阻害剤を休薬。ワクチン接種のタイミングは変更なし	中
オレンシア（皮下注射）	初回ワクチン接種の前後1週は投与しない 2回目のワクチン接種に際しては休薬の必要なし	中
オレンシア（点滴静注）	オレンシア点滴4週後に初回ワクチン接種。初回ワクチン接種後1週後にオレンシア点滴（前回オレンシア投与後5週） 2回目のワクチン接種に際しては調整の必要なし	中
エンドキサン（点滴）	初回、2回目のワクチン接種1週後にエンドキサン点滴	中
リツキサン・リツキシマブBS	初回ワクチン接種：COVID-19のリスクが低い場合自己隔離などの予防的健康対策によって軽減されるなら、リツキサン投与4週前に接種 2回目ワクチン接種：病気の活動性が大丈夫であれば、ワクチン接種2-4週後にリツキサン点滴	中

\*治療を「保留」するためのガイダンスは、患者が一時的な中断を可能にするために疾患が十分にコントロールされているという前提に基づいて行われたが、そうでない場合は、状況を考慮してケースバイケースで決定すべきである。

\*\*プレドニゾン相当量が20mg/日以上投与を受けている患者のワクチン接種時期については、コンセンサスが得られなかった